

令和4年7月19日

浜田市議会議長 様

議員名 村武 まゆみ

調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和4年7月5日(火) 13:30～15:00
2. 研修内容 VR認知症体験
講師 黒松 慶樹 氏 (小規模多機能型居宅介護センター・サッえるだー 管理者)
3. 研 修 先
浜田市役所 議会全員協議会室
4. 調査経費 3,000 円
(経費内訳 講師料 3,000 円)

5. 調査研究活動の概要

①認知症について

- ・認知症とは、一度正常に発達した脳が、何らかの原因でダメージを受けることにより、短期記憶や見当識が障害され、自立した生活が困難になっている状態。
- ・認知症は病気ではなく、原因となる病気が引き起こす症状の名称であり、その状態を指す言葉である。
- ・人によって諸症状が違う。

②認知症の種類

- ・アルツハイマー型認知症

脳にタンパク質が蓄積することが要因の一つ。脳伝達の障害・ニューロンの死滅・脳が萎縮していく。「海馬」が影響を受け、記憶障害や視空間認知障害な

どを引き起こす。認知症の中で最も多く、全体の5割を占める。

・レビー型小体型認知症

脳内にレビー小体というタンパク物質が出現し、身体の震えや動作がゆっくりになるパーキンソン症状などが現れる。他の認知症と明らかに違うのは、概ね50%の方に以上にリアルな幻視が見える。比較的記憶障害を伴わない事、自律神経症状の出現等がある。良い時と悪い時がはっきりしている。薬に対しても弱くなる。

・記憶障害（物忘れ）

単なるもの忘れ	認知症の人のもの忘れ
・昼食に何を食べたか思い出せない ・しまった、昨日と同じものを買ってきた ・久しぶりに魚を食べたい。 昨日も魚だったよ。→あ、そうだった	・私は昼食を食べていない ・なんで同じものが二つあるんだ？誰か買ってきたのかな？ ・久しぶりに魚を食べたい。 昨日も魚だったよ。→昨日は違うわ！黙れ！
ヒントがあったり、人に言われたりすると思い出す	ヒントがあっても、体験そのものを忘れてしまうので、思い出すことができない

・認知になると必ず失禁・暴言暴力・抑鬱・徘徊・物盗られ妄想・睡眠障害などが出ると誤解されている。現状に対するストレス反応であり、行動の裏には必ず本人なりの理由がある。

③65歳以上で認知症になる方は5人に1人と言われている。いつか誰もがなる可能性があるのが認知症。

④今日からでもできる事

- ・認知症のある人を無知からくる偏見でみない。
- ・本人のできることを奪わない。一緒にやる。
- ・認知症に対する正しい知識を持つ。
- ・認知症になっても諦めない社会を目指す。

⑤認知症状VR体験

- ・車から降りる動作が高いビルにいて飛び降りる動作に見える。周りの方が足を出して、と言うが怖くて一步が踏み出せない。

所感

VR体験をすることで、認知症の方がどのような経験をしているかを実感することができた。とても怖かった。しかしそれを理解できなければ認知症の方を叱ったり、怒ったりするのだと思う。そうされると認知症の方は自尊心を傷つけられ、様々な行為行動をとるのではないかと感じた。

認知症について理解をし、認知症になっても幸せに生きていける社会を作りたいと感じた。

